

近畿本部 情報工学部会 3 月度例会の案内

- ◇日時：2021年3月13日（土）14時00分～17時00分
- ◇場所：Web 中継にて実施
- ◇会費：日本技術士会会員・準会員(500 円)，協賛団体会員(500 円)，未入会者(1,000 円)，学生(無料)
- ◇申込みおよび問合せ先メールアドレス：info@jyouhou.ipej-knk.jp
- ◇Web の場合：<https://jyouhou.ipej-knk.jp/wp/> 開催日のイベントから申し込み下さい

<プログラム>

(Zoom ミーティングルームには 13:55 までには入室招待します)

2. 諸連絡 14:00～14:10

3. 講演 14:10～15:25 榎一 憲生 技術士（情報工学）

『仮想環境とシステム開発』

(概要) 仮想環境（1 台 PC やサーバの中に仮想的な環境を構築したもの）は 2000 年代初期になってから採用されるようになってきました。

約 20 年後の現在、機器の高性能化、仮想化技術の進歩、周辺ツールの整備があり、広く使われています。

本講演では仮想環境の仕組みを歴史と共に紹介します。また、システム開発での利用について、お話させていただきます。



4. 講演 15:35～16:50 松井 亮宏 氏（株式会社メトリックス 代表取締役社長）

『システム監査のこれまでとこれから』

(概要) 1969 年に米国で現在の ISACA につながる the EDP Auditors Association (EDPAA) が設立されて 50 年余りが経ちました。その後、日本でも 1974 年に JIPDEC でシステム監査という用語が使われ始め、1984 年に EDPAA (現 ISACA) 東京支部設立が、1986 年に大阪支部が設立され、その後も名古屋・福岡の支部が設立されて現在に至っています。

今回は主に会計監査の一環として実施されてきたシステム監査の歴史を振り返りつつ、今後のシステム監査のあり方について考えていきます。



なかなかコロナの収束が見通せませんが

4 月の月例会は 10 日(土)
を予定しています。

